



東生野中学校 学校だより **あひるの力**

「あ」は挨拶。「ひ」は人の話を聞く。「る」はルールを守りマナーを身につける。

©DESIGNALIKIE

かんけん め 観見の目

早いもので令和8年の1月が終わります。3年生のみなさんは私立高校の入試に向けて最後のがんばりを見せてくれています。4月から2年生のみなさんは最高学年に、1年生のみなさんは後輩が入学してきます。そのための準備と努力を頑張ってくれています。残された3学期、同じ学年の仲間と過ごす時間を大切にしたいと願います。

「観の目つよく 見の目よわく」とは宮本武蔵の「五輪書」にある「観見二眼」の教えで目先の動き(見の目)にとらわれず、本質や全体(観の目)を捉えるべきという精神です。

私たちが暮らす今の時代、スマートフォンやパソコン、AIの普及によって便利で楽に日々の生活を送ることができるようになりました。わからないことはスマホをタッチしたり、料理を作るにもスマホの画面からヒントをもらいます。大事な連絡やお願い事などもメールやLINEで済ませることができるようになり、AIがいろいろなヒントをくれます。しかし、昔であれば相手に会って話をしたり、手紙やはがきを送り、電話をかけていました。このように便利な社会になった反面、「観の目」が弱くなってきているような気がします。SNSやAIの情報をそのまま信じてしまい誤解からトラブルになったり、事件に巻き込まれることが起こっています。また、生成AIの偽情報を信じ込み真実がわからなくなってしまうことがあります。このように便利な時代だからこそ、表面の姿をとらえる「見の目」よりそこに潜んでいる、目に見えない本質を見抜く「観の目」を養う必要があるのではないのでしょうか。また、「観の目」を養うことで目に見えない力に助けてもらえることがあるように思います。

寒さに負けるな まだまだ寒い日が続きます。寒さに負けないように、朝ご飯、給食、晩御飯をしっかり食べて勉強しないのであれば早く寝て、寒さに負けない体力をつけてください。 令和8年1月30日 校長 角田真章